女子祭礼用衣装〈サーリー〉A0301

インドのサリーとクルター

参照資料

『国立民族学博物館展示ガイド』p.57

取扱注意：
これは着付けることはできません。
手袋をはめてお取り扱い下さい。

साड़ी

※日本ではサリーという言葉が定着していますが、インドの発音により近い表記はサーリーです。
モノ情報カードではサーリーと表記します。

サリーは、南アジアの女性が着る巻衣。長さ約 5.5 メートル（6 ヤード）、幅 1.2 メートルほどのものが、標準のサイズであるが、長さ 8 メートルのものや、幅が 0.9 メートルと狭いものもある。サリーは、一枚の布を身体に包むようにして、着るのが特徴である。着方や布の素材、染織技術の特徴、文様などで、着用者の出身地や階層、カースト、婚姻の有無などがわかる。
このサリーは、絹糸と金糸を用いた手織りで、文様が描かれている。赤色は結婚式のときに花嫁が好んで着る色である。

上羽先生からのひとこと

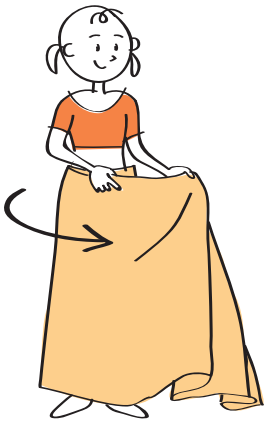
赤色は結婚式のときに花嫁が好んで着る色ですが、地方や階層によって好みの色が異なることもあります。花嫁だけではなく、招待客も色鮮やかな高価なサリーを着て集まります。華やかな場所へ着ていくサリー選びは、日本のおしゃれな女性と変わりません。

サーリーの標準的な着付方法

インドのサリーとクルター

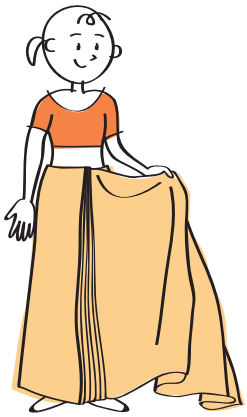
サリーの標準的な着付方法

1. はじめに、ペチコートとブラウスを着る。サリーの左端をペチコートにはさみ、左から後ろに巻く。



2. 腰を一周したところで

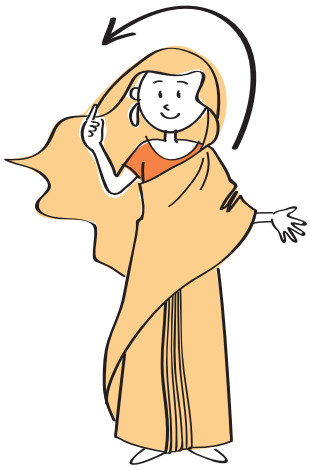
3. 肩にかける布を 1.8m くらい残して、体の正面に 12 ～ 14cm 幅のプリーツを 6 ～ 8 つとる。



4. プリーツを左向きにして端をペチコートにはさみ、丈を合わせる。

5. 残りの布を後ろをとおして右前にまわす。

6. 布をひっぱりながら、体に合わせて整え、左肩にかけ、後ろに自然にたらす。



7. 布を肩にかけるかわりに、そのまま頭をおおって右側へもっていき、後ろにたらす着方もある。

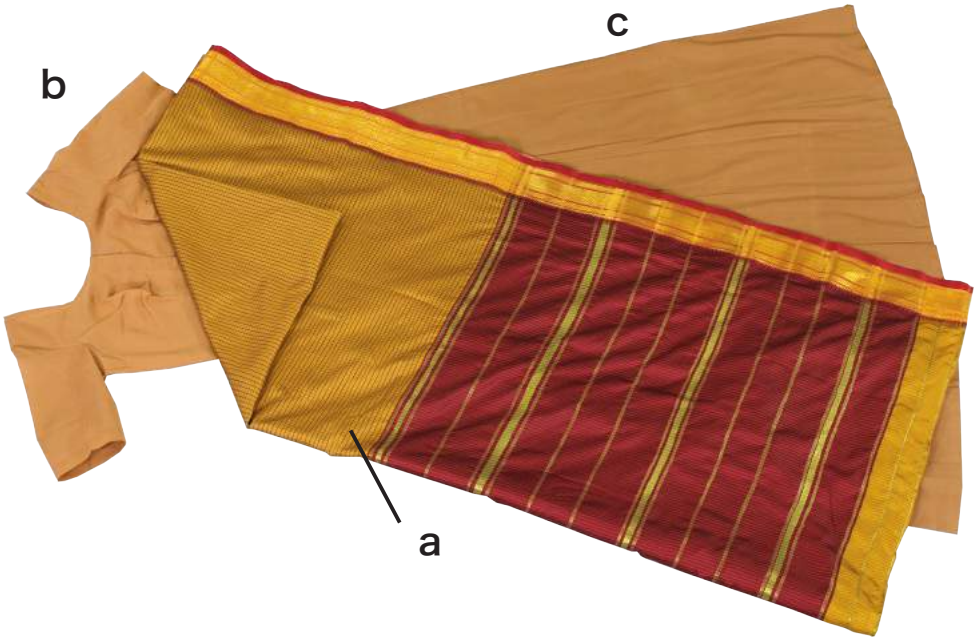
※　サリーは地方によって、カーストや職業によっても着方が異なる。

女子日常用衣装〈サーリー〉A0302

インドのサリーとクルター

参照資料

『国立民族学博物館展示ガイド』p.57



साड़ी

a साड़ी〈サーリー〉　b ब्लाउज़〈ブラーウズ〉　c पेटीकोट〈ペーティーコート〉

サリーは特別なときだけではなく、日常でも用いられる。日常用のサリーは木綿、絹、あるいは安価な化繊のものが好まれる。サリーの下には、ブラウスとペチコートをつけるが、とくにブラウスはサリーの色と文様と合わせて映えるものを、自分の身体のサイズに合わせて仕立ててもらう。

上羽先生からのひとこと

日常にサリーを着る女性は、だんだん少なくなってきています。とくに若い女性はパンジャビ・スーツや、洋装、ジーンズなどを好むこともあります。

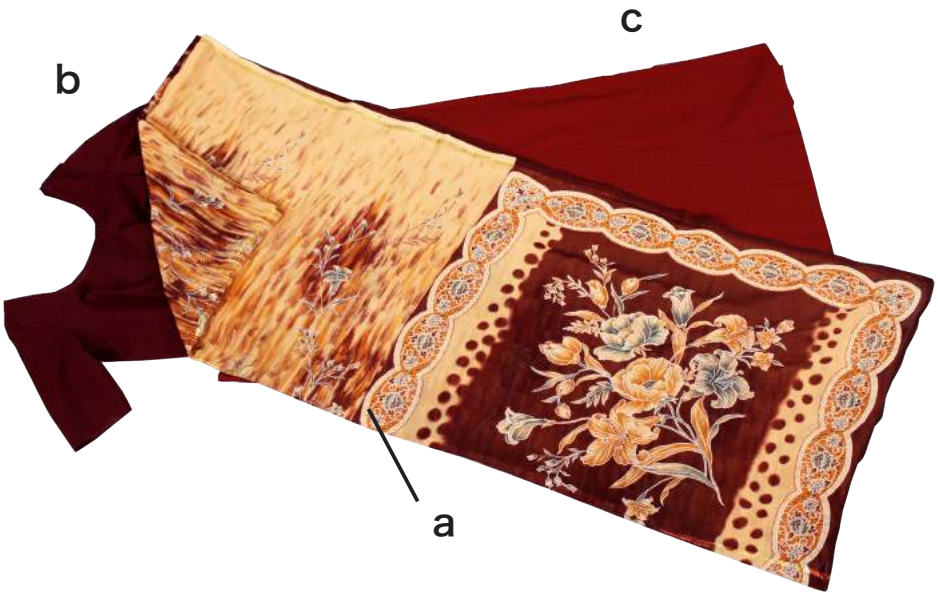
女子日常用衣装〈サーリー〉A0303

日本製

インドのサリーとクルター

参照資料

『国立民族学博物館展示ガイド』p.57



साड़ी

a साड़ी〈サーリー〉　b ब्लाउज़〈ブラーウズ〉　c पेटीकोट〈ペーティーコート〉

サリーは、一枚の布を身体に巻き付けて着用することが特徴である。一枚のサリー用布地のなかで、装飾的な外端を「パッルー」と呼び、さまざまな文様が描かれている。パッルーの位置は、左肩にかける、あるいは右肩から前に垂らすなど、地方や階層によって異なる形態をみることができる。

上羽先生からのひとこと

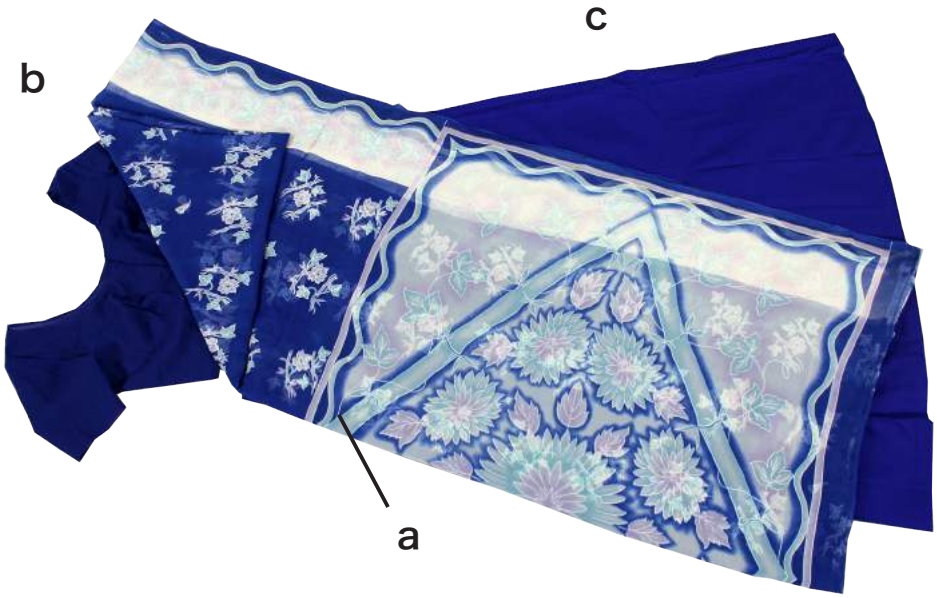
日本にも多くのインド人が住んでいます。彼女たちはサリーを、神戸や横浜などにある日本製やインド製のサリーを売る店で購入します。日本製の化繊サリーは、手触りがよく質が良いため人気があります。

女子日常用衣装〈サーリー〉A0303
インド

インドのサリーとクルター

参照資料

『国立民族学博物館展示ガイド』p.57



साड़ी

a साड़ी〈サーリー〉　b ब्लाउज़〈ブラーウズ〉　c पेटीकोट〈ペーティーコート〉

サリーは、一枚の布を身体に巻き付けて着用することが特徴である。一枚のサリー用布地のなかで、装飾的な外端を「パッルー」と呼び、さまざまな文様が描かれている。パッルーの位置は、左肩にかける、あるいは右肩から前に垂らすなど、地方や階層によって異なる形態をみることができる。

上羽先生からのひとこと

日本にも多くのインド人が住んでいます。彼女たちはサリーを、神戸や横浜などにある日本製やインド製のサリーを売る店で購入します。日本製の化繊サリーは、手触りがよく質が良いため人気があります。

女子日常用衣装〈チュニック・ショール〉A0304

インドのサリーとクルター

चुनिक्कु शाल

チュニックは、未婚女性が身につける上衣で、カミーズよりも丈が短いことが特徴。胸元を隠すドゥパッターと共に着用される。現在は、スカートやジーパンなどと組みあわせて、ファッションとして着る女性が多く、その色や形態などは多様である。

色鮮やかなインド製のチュニックは、日本や欧米にも輸出され、ファッションとして着用されています。

女子日常用衣装〈パンジャビー スーツ〉A0305

インドのサリーとクルター

पंजबी सूट

インドの未婚女性の衣装としては、カミーズというゆったりとした上衣と、サルワールというゆったりとしたズボン、胸元を隠すドゥパッターがあげられる。この３点をまとめてパンジャビ・スーツと呼ぶ。
色や形態のバリエーションは多様で、この資料には、花文様をかたどったといわれるペイズリー文様が描かれている。

上羽先生からのひとこと

ゆったりとした形態の衣装は、暑いインドの気候に適しています。ドゥパッターと呼ばれる掛け布は、胸元を隠すだけでなく、髪の毛を隠すためにも用いられます。パンジャビとはインド北部のパンジャーブ州という意味ですが、この衣装形態はインド全域で着られています。

首飾り〈マンガラ・ストラ〉A0306

インドのサリーとクルター

मंगल-सुत्र

南インドから西・中央インドのヒンドゥー教の既婚女性が身につける首飾りでマンガラ・ストラと呼ばれる。この首飾りは、夫から妻へ既婚女性の印として贈られる。お守りとしての役割もあり、つけている女性は、夫に幸福と富と健康をもたらすと信じられている。

上羽先生からのひとこと

首飾りは、地方や階層によって、さまざまな形態があり、この資料のように金メッキ（鍍金）のものもあれば、純金のものもあります。

アクセサリー　〈バングル／チュリー〉A0307

インドのサリーとクルター

बांडूगूल　/　चुरी

インドの女性は､多くの装飾品を身につけている。腕輪･バングル（チューリとも呼ばれる）は､手首だけではなく、二の腕までいくつもつけられていることがある。
腕輪の素材は、ガラス、金銀などの貴金属、ラックと呼ばれるインド産の樹脂、木、象牙、プラスチックなど、さまざまである。
バングルは豊穣性と結びつくため、結婚式の花嫁は何十本も身につけるている。

上羽先生からのひとこと

インドは装飾品の加工技術が高い国です。バングルの素材や色、装飾なども多くの種類があり、女性たちは、さまざまな組み合わせを楽しみながら身につけています。バングルは子ども用もあり、幼い頃から身につけることもあります。

アクセサリー　〈ビンディ〉 A0308

インドのサリーとクルター

बिंदी

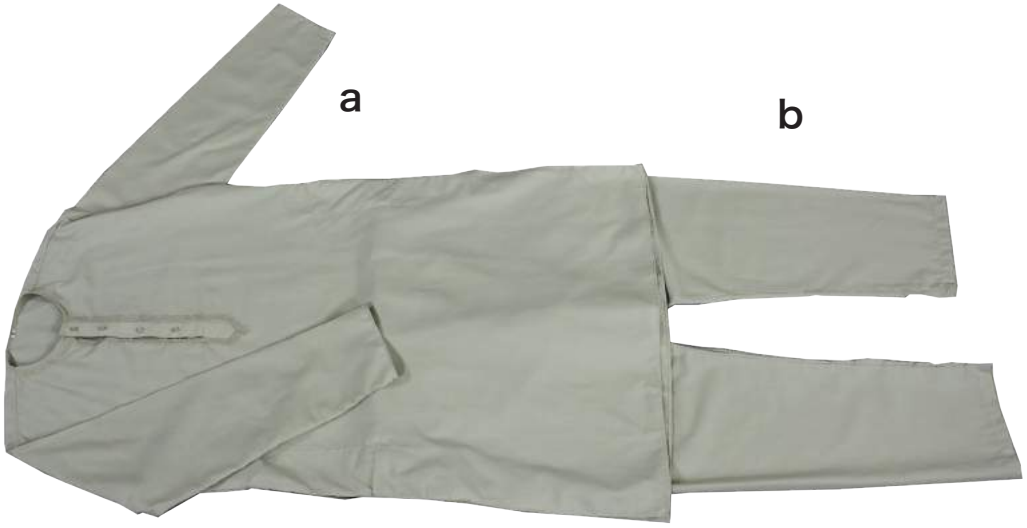
女性の額につけるビンディ。基本的には、ヒンドゥー教の結婚した女性（既婚女性）がつけるものであり、伝統的には赤い顔料で、小さな丸を額に描いていた。
ビンディは、もともと自分の属するヒンドゥー教徒の宗派をあらわす模様で、男性も女性も付ける宗教的な印であり、また悪霊から守護する役目も果たしている。
現在は、このようにシール状でファッショナブルのものが多く、サリーの色や文様に合わせてつける。

上羽先生からのひとこと

ヒンドゥー教の既婚女性は、夫が亡くなるまでビンディを額につけ続けます。そのため、インドの市場では、色や形の異なるビンディがたくさん売られています。子どもがつけることもあります。

男子祭礼用衣装〈クルター・パージャーマー〉A0309

インドのサリーとクルター



कुरता / पाजामा

a कुरता 上衣〈クルター〉　　b पाजामा ズボン〈パージャーマー〉

インドの男性用衣装としては、クルターというゆったりした上衣と、パージャーマーというパジャマ風のゆったりしたズボンがあげられる。

このような薄地の木綿布によるゆったりとした衣装は、暑いインドの気候において、快適な形態となっている。

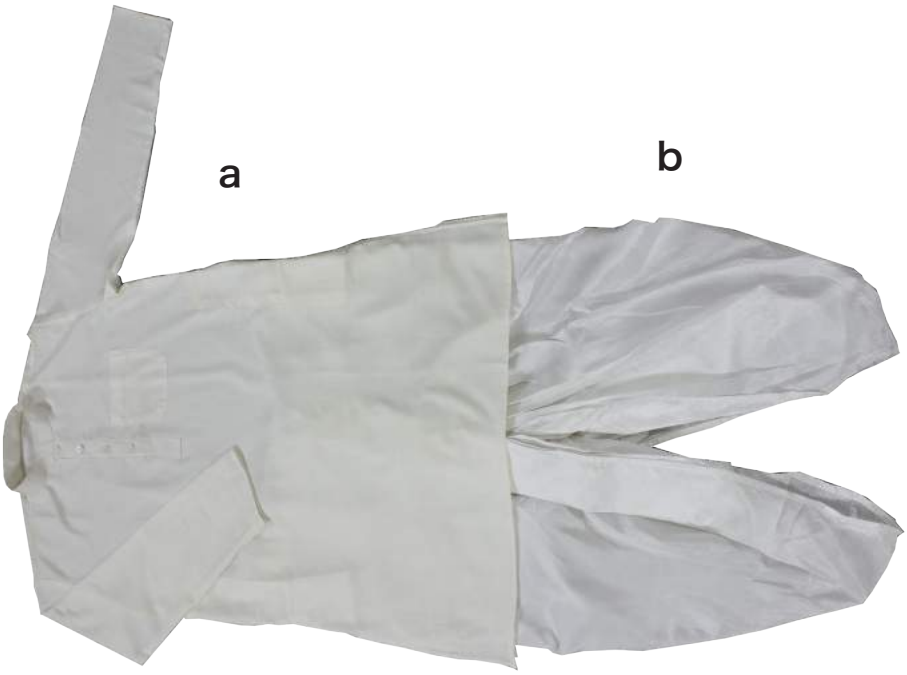
なお、パージャーマーはペルシア語からきているが、これはいわゆるパジャマの語源ともなった。

上羽先生からのひとこと

家の中では、リラックスした腰巻き風のルンギーを着ている人もいます。また現在、男性用衣装は、伝統的なものから西洋風のシャツやズボン、さらにはジーンズなどに様変わりしています。

男子日常用衣装〈クルター・ドーティー〉A0310

インドのサリーとクルター



कुरता धोती

a कुरता 上衣〈クルター〉　b धोती ズボン〈ドーティー〉

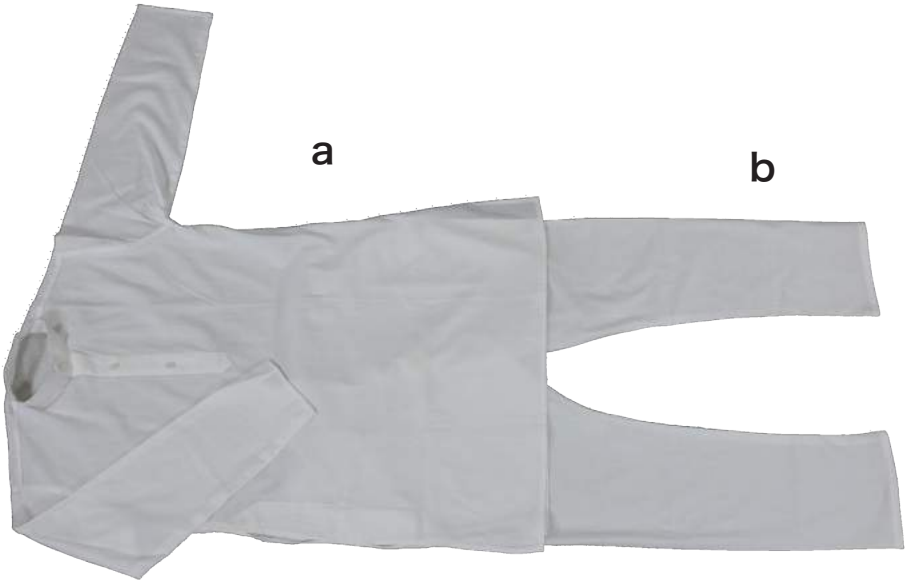
インドの男性用衣装は、地方や階層によって異なっている。クルターというゆったりしたシャツと、パージャーマーのかわりに腰巻き風のドーティーを合わせることもある。伝統的なドーティーは、一枚布で下半身に巻き付けるようにして着る。この資料のように、縫製された状態で、簡単に身につけることができるものある。

上羽先生からのひとこと

暑い地域では、クルターを着用せず、ドーティーだけで日中を過ごすこともあります。地方や階層によって、クルターの形態や、ドーティーの巻き方などが異なります。

男児祭礼用衣装〈クルター・パージャーマー〉A0311

インドのサリーとクルター



कुरता / पाजामा

a कुरता 上衣〈クルター〉　　b पाजामा ズボン〈パージャーマー〉

男児用の衣装。クルターというゆったりしたシャツと、パージャマーというパジャマ風のゆったりしたズボン。男性用の衣装の形態を子どものサイズにしたもの。

上羽先生からのひとこと

男児用の衣装も、地方や階層によってさまざまです。学校の西洋式制服や、西洋式のシャツやズボンを好む子どももいます。

女児日常用衣装〈ブラウス・スカート・ショール〉A0312

インドのサリーとクルター

※ いずれか 1 点が入っています

女児用の衣装は、丈の短い上衣とスカート、ドゥパッターの組み合わせや、ワンピースとぴったりとしたズボン、ドゥパッターの組み合わせなどがある。
華やかな装飾がほどこされているが、見た目だけを重視して、プラスチックなど安価なものが、簡単にとりつけてある。

上羽先生からのひとこと

女児たちは、日常でもこのような華やかな衣装を着ていることがあります。近年は、西洋式シャツやスカート、ズボンなどを着ている子どもたちをみることが多くなりました。

プレート〈ターリー〉 A0313

インドのサリーとクルター

参照資料

『季刊民族学』No.120
p.50 ～ 51

थाली

庶民がひんぱんに利用する大衆食堂でよく見かけるタイプの食事用のお皿。手前の大きくへこんだ部分に主食になるご飯かチャパティーというパン、奥のちいさなへこみにはおかず、豆を使ったダールというスープ、ピクルスやヨーグルトなどを入れて出す。おかずやスープが混ざらないように盛りつけられ、洗い片づけも簡単なように工夫されている。

三尾先生からのひとこと

インドでは料理は片手の親指、人差し指、中指の先だけを使って食べます。このお皿は主食とおかずやダールを上手に混ぜ合わせて食べやすいように出来ていて、食事を手早くすませられます。お客にもお店にも喜ばれる形になっているのですね。

弁当箱〈ティフィン〉

A0314

インドのサリーとクルター

टिफिन

宗教やカーストによって食べられるものと食べられないものが細かく決まっているため、インドの学校や会社は給食や大食堂などがあまり発達せず、個人個人が弁当箱を持って行き、お昼を食べる習慣がある。これは小型の弁当箱で、二段重ねになっていて、主食（ご飯かチャパティーというパン）とおかずを別々に入れて持ち運べるようになっている。

三尾先生からのひとこと

三段重ねで主食とおかず二品、または豆を使ったダールというスープを入れられる形もよく見かけます。でも中に詰めるものは家庭によって、また日によって、いろいろ。ふたを開けるときドキドキする気持ちはインドでも日本でも変わりません。

スパイスケース〈マサーラーダーニー〉 A0315

インドのサリーとクルター

参照資料

『季刊民族学』No.120
p.50 ～ 51

मसालादानि

インド料理は、食材や食べる人の好みに合わせ、調理のたびに 10 種類前後の香辛料や調味料を混ぜて作る。多くの家庭では、数回の調理に使う分の香辛料を種類ごとに分けてこのようなスパイスボックスに入れ、調理台の近くに置いて料理に使う。どの香辛料をどのタイミングでどれだけ入れるか、ということが味の違いを作りだす。

三尾先生からのひとこと

長く空気に触れると香辛料は味が落ちます。保存には密閉できる大型ビンを使います。香辛料の味わいと配合がそれぞれの家庭の味の決め手。取り扱いにとても気を使う人が多いのもうなずけます。

絵本〈チットルカター〉 A0316

インドのサリーとクルター

取扱注意：
許可なくコピーしない
でください。

चित्रकथा

雑誌〈マーングズィーン〉 A0317

インドのサリーとクルター

取扱注意：
許可なくコピーしない
でください。

मॉंगज़ीन

英語の雑誌や書籍。インドでは、それぞれの地域の言語以外にも、全国的に英語の書籍や雑誌が人気である。英語の書籍を専門に扱う書店も増えている。雑誌は値段も手ごろであるため、多くの人に読まれている。

松尾先生からのひとこと

難しい英語の本を読むことが出来るのは、教育を受けたエリート層が多いですが、映画の情報誌やファッション雑誌は、映画スターが多数登場するため、若い人たちにも人気です。

文具セット〈レーカン サームグリー〉A0318

インドのサリーとクルター

लेखन-सामग्री

鉛筆とノート、コンパス、筆箱などのセット。インドではノートや鉛筆は貴重品で、大切に使われていた。今では外国製の文房具も売られるようになり、質の良いものが増えている。

松尾先生からのひとこと

ノートの紙は、わら半紙のようで、使い勝手はあまりよくありません。かつては、村では小さな黒板とチョークをノート代わりにして授業を受けていました。

インド映画女優・俳優ポスター〈ポスタル〉A0319

インドのサリーとクルター

取扱注意：
許可なくコピーしないでください。

पोस्टर

映画俳優のポスターは、街の路上でもよく売られている。寺院の前などで、神様のポスターと一緒に売られていることもある。スターの人気は移り変わりが激しく、ポスターも流行りすたりが大きい。

松尾先生からのひとこと

映画の宣伝ポスターも路上によく貼られています。インドの写真館では、ポスターのように背景を合成した写真も撮ってくれます。

楽器〈カルタル〉 A0320

インドのサリーとクルター

खरतल

カルタルは、二つ一組の打楽器。二つを打ち合わせて音を出す。それぞれにタンバリンのようにジングルがつけられている。演奏者は、大きな穴に左手の手のひらを通し，小さな穴に親指を通して、二つを打ち合わせます。

寺田先生からのひとこと

この楽器は、１５世紀の聖人カビールの詩などを詠唱する時に演奏されます。演奏者は、右手で弦楽器、左手でカルタルを演奏しながら歌います。

楽器〈バンスリ〉 A0323

インドのサリーとクルター

बाँसुरी

バンスリはインドで最も古い楽器の一つである横笛の一種で、広く北インド地域で演奏されています。古くから民俗楽器として用いられましたが、20 世紀に入ってからは古典音楽でも演奏されるようになりました。
現在最も有名なバンスリ奏者であるハリプラサード・チョーラシア（1936 年生まれ）さんの音楽は、このパックに入っている CD で聞くことができます。